

[伊予市家庭教育情報誌]

ほのぼの

第13号



今年の4月に男の子を出産し、子どもが3人となり慌ただしい毎日を送っています。祖父母も仕事が休みの時は、率先して子ども達の世話をしてくれるので、とても助かっています。

また育児の先輩である母は、いつも私を励まし勇気づけてくれます。

祖父母と子ども達の楽しそうに笑う姿を見ると、何気ない日々がとても幸せに感じ、父と母が居てくれることに感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも子ども達の成長を共に喜び、家族で過ごす時間を大切にしていきたいです。

お父さん、お母さん、これからもよろしくお願いします。

祖父母：安岡一、幸美

父母：安岡一彦、香織

子ども：風香、桃香、太一（宮下）



子育てがんばっています!!

家族と一緒に生活していて一番感謝していることは、皆が子育てをしてくれることです。

子どもの送り迎えやお守り等、祖父母・曾祖父母共にいつも快く引き受けてくれます。

子どもの話し相手や食事、季節のイベントや誕生日等を皆で過ごすことができるのは、四世代家族の特権だと思います。

いつも私たち夫婦を助けてくれるこの家族を大切に、皆で子どもの成長を見守っていききたいと思います。

曾祖父母：柳原行雄、久子

祖父母：柳原博司、玲子

父母：柳原秀樹、ふじ子

子ども：ななみ、亜美



(中山町中山)



今後の学習会の予定

学校名等	日時	場所	対象	内容
広田小学校	11月10日(日) 10:15～11:10	広田小学校	1～6年生保護者11名	社会性を育てるために
双海保健センター	11月15日(金) 10:00～12:00	双海保健センター	未就学児、保護者	読み聞かせ
伊予幼稚園	H26年2月3日(月) 9:30～10:45	伊予幼稚園	3、4、5歳児の保護者60名	講話・グループ相談

個別の相談や少人数グループの話し合いを希望される方もご遠慮なくご連絡ください。

スタッフ

氏名	備考	氏名	備考
井手窪 理	元教員	田中 幸子	青少年センター相談員
橋本 千春	読み語り隊代表	平岡真由美	元教員
森田 和恵	ボランティアグループスタッフ	竹内 悦子	元教員
向井三枝子	元幼稚園教員	川中 敏明	中央公民館長
中岡 典子	元教員	西川 重子	伊予市子育て支援課
上本 昌幸	サポートグループリーダー	武田 秀雄	伊予市教育委員会
玉生 森弘	元愛護班顧問	野間 美幸	伊予市教育委員会



子育てがんばっています!

普段の子育ての中で曾祖父母がニコニコ見守ってくれ、祖父母が一番近くで応援・協力してくれているおかげで子ども達が明るく元気に成長させてもらっていることに感謝の毎日です。

家族を大切にあること、いろんな仕事を手伝いたい楽しんだいあることを自然と学びながら大きくなっていることを本当にありがたいなと思っています♡

曾祖父母：奥田幸雄、邦子

祖父母：奥田幸長、ミツ子

父母：奥田英幸、枝理子

叔父・叔母：奥田友和、園代

子ども：主水、彩花

子ども：修人、樹



(双海町上灘)

子育て真っ最中の
皆様の応援をします。

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

☎ 982-5155

FAX.982-5156

〒799-3113 伊予市米湊768-2 (伊予市中央公民館内)

上野地区公民館での家庭教育学級

平成 25 年 2 月 1 日(金)に「人権感覚を高めるために、乳幼児期に育てたいもの」と題して次の3つのことについての話がありました。

- (1)自己肯定感(自分は大切にされている。存在価値があるんだという気持ち)を育む。
 - (2)人と人との心をつなぐ言葉を育てる。
 - (3)「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣を身につけさせる。
- その後、グループになり、子育てについての疑問や悩みを話し合いました。



- ★子どもの話をよく聞いてゆっくり時間を使って子育てをやりたい。
- ★自己肯定感は親の愛情や子どもとの言葉のやり取りの中で無限大に育まれるのだと思った。
- ★どんなことがあっても大事にされていると思える子になるよう愛情かけて育ててやりたい。

上灘保育所での学習会

平成 25 年 2 月 26 日(火)に上灘保育所で「子どものやる気をおこさせるには」と題して講話を聞き、その後グループで話し合いをしました。「アットホームな感じで話しやすかった」という回答をしていただいたように、悩みをもとにみんなで考えて解決していくなど、有意義な時間を過ごしました。



- ★親として子どもと向き合っていくときの心の持ち方など、勉強になった。
- ★子どもの性格を理解して子育てを頑張りたい。
- ★ふだん仕事で家にあまりいないので触れ合う時間があまりなく、妻に負担をかけている。妻や子どもたちの笑顔に感謝している。

家庭教育・子育て学習会

平成 25 年 8 月 12 日(月)に伊予市総合保健福祉センターにおいて、中村和憲さんを講師にお迎えし、講演と調理実習という内容で学習会を行いました。



中村 和憲 さん

● 講演「食卓から考える自立」

講演の中で、中村さんは次のように述べられています。



中村さんは、これまでの体験をもとに、やさしい口調で貴重なお話をされました。うなづいたりメモを取ったりしながら聞き入っていました。

- ① 生活習慣が身に付くのは9歳までで、それまでに子どもにいろいろ経験させてやるのが大切です。10歳になると親はサポーターにまわりましょう。
- ② いつか来る「自立」のために、子どもに台所などで手伝いをしっかりさせてあげましょう。
- ③ 体は食べ物でつくられており、成長期に何を食べたかでその人の一生が決まります。「学歴」よりも「食歴」が大事です。



● 調理実習・お弁当作り

簡単に作り方を聞いた後、レシピを基に、グループで作っていききました。小学生の参加もありました。みんな上手に「猫の手」で野菜を切っていると、グループのお母さん達や中村さんから褒めてもらい、より頑張って切っていました。他の仕事も見つけて積極的に取り組もうとしていました。お弁当を食べるときにも、自分が作ったという気持ちがあったためか、普段は食べないなすびもたくさん食べていました。

- ★ポテトサラダ
- ★チキンナゲット
- ★グラタン
- ★そぼろ
- ★夏野菜のお漬物
- ★すりめん佃煮

また、中村さんは、グループを見回りながら、豆知識を教えてくださいました。例えば、「なすはすべて使えます。へたは、いぼを除くことができます」などおばあちゃんの知恵袋的なことを話されながら、楽しく調理することの大切さを教えてくださいました。

いつも笑顔を絶やさず、ゆったりとみんなに接してくださった姿勢を見習いたいと思える一日でした。



味噌汁は
栄養バランスのとれた
すてきな料理です。

- ★子どもにはできないと親の目で分かっていても、一度させてみて、自分自身に判断させようと思います。日々の生活に追われているなかでも、ゆとりをもって我が子と接してあげようと思います。週末は少し早起きして、味噌汁を作るようになりました。(2児の父親)

さっちゃんの 子育て相談日記

子育ては、子どもと親の根くらべ!



ずっと以前、相談室を訪れたM男(8歳)のことを思い出しました。

「いくら注意しても効き目がなく、万引きを繰り返すので困り果てた先生が溜息まじりに言いました。そして「どうして?!」とM男に問いかけました。M男は黙ってうつむいたままでした。

相談室に来る子どもの多くは、自分の気持ちを自分の言葉で表現できません。おもしろそうだったからくらいしか言えない子どもがほとんどです。「何処へ行っても、どうして、どうして? ばっかりだ。そんなこと分かったら、やらないよ」そう思いながらM男はうつむいていました。「どうして?」と聞かれるたびに非難されているようで、聞かれる子どもにとってはつらいことです。



M男の家族画

M男が3歳のとき両親は離婚しました。2年生のころから万引き、暴力行為を繰り返しました。家族画(左図)では寝ている様子が描かれ、階段を境に左側の部屋に母親、右側の部屋にM男と妹が寝ています。母親への強い依存欲求にかられ、離れていく母親をふとんで包囲しています。しかし心は満たされず、万引きを繰り返しました。

無意識の罪悪感からか右手は手首

がなく、木刀のように描かれています。

相談員の私にとりましては、忍耐強く、M男が自分の内面を自分の言葉で表現できるように、一緒に言葉を見つける作業をしていかなければなりません。そしてM男は今何を求め、今できることは何かを一緒に見つけていかなければなりません。

(実例をある程度変更及び抽象化しています。)

子育て相談室

☎ 982-2602 (伊予市教育委員会内)

相談内容についての秘密は厳守します。

郡中地区公民館での家庭教育学級

平成 25 年 1 月 16 日(水)、『子育て座談会』を実施しました。「子育てで楽しかったこと」「家庭で気を付けていること」「今、子育てで悩んでいること」等をグループで話し合いました。

- ★お母さん大好きといってくるとホッとする。一日一回抱きしめることにしている。
- ★あいさつをしっかりするように、また、食事はなるべく家族全員で摂るようにしている。
- ★反抗期もいつかはおさまる。親と子の言葉のキャッチボールを大切にしたい。

